

美唄市男女共同参画推進協議会会報

デュオ

Duo

デュオとはイタリア語で
「二重唱」「二重奏」を意味します。

発行：美唄市男女共同参画推進協議会事務局



男女平等参画について考える 「日本女性会議 2017 とまこまい」開催

男女平等社会の実現に向けた課題の解決策を探るとともに、参加者相互の交流促進やネットワーク化を図ることを目的とした、国内最大の会議「第34回日本女性会議」が苫小牧市で開催されました。

道内では札幌市（2014年開催）以来2回目の開催で、10月13日から3日間の日程で行われ、全国各地から男女共同参画に関わる方などが集まりました。

初日は特別揮毫（きこう）・講演や基調報告、記念講演のほか夜には交流会が開催され、2日目はDV、災害、人権など11の分科会と特別講演、記念シンポジウム、最終日はエクスカージョン（体験型見学会）が行われました。

当協議会からは、会長、会員と事務局が初日の特別講演、基調報告、記念講演に参加しました。

参加者からの感想をいただきましたので紹介します。



日本女性会議2017とまこまい （北の大地で語ろうこれからの未来の一步を）に参加して

さる10月13、14、15日の日程で「日本女性会議2017とまこまい」が開催され、私と根賀さん、近藤さん、事務局の及川さんの4人で13日のみ参加してきました。

私は10数年前に新潟県で行われた時に参加して、大変良い勉強をさせてもらった思い出があるので、どうしても参加したくてこの会議を優先して参加しました。



開会式の後に行われた、金澤泰子さんの「ちがいはかけがえのない個性」と題しての特別揮毫・講演は、ダウン症の娘の翔子さんとのお話でした。自分の嘆きをよそに、周りの人たちに優しい光と愛を注ぐ子どもに成長して立派な書家になり、その書を見た人たちに感動を与えている翔子さんについて語られ、親と子が生きていくための大きな希望となる講演でした。



【書家・金澤翔子さんによる
特別揮毫「共に生きる」】
（裏面へ続く）

基調報告では内閣府男女共同参画局長の武川恵子さんから、男女共同参画社会での女性未来を拓く女性の活躍についてのお話でした。

記念講演は劇作家、演出家、女優の渡辺えりさんの「夢見る力～つながる幸せ～」と題しての講演で、広いステージを歩き回りながら、会場の隅々の方にまで語りかけるように講演されていました。次から次へと話題が飛び出す流れるような話し方に引き込まれました。

とても良い時間を過ごすことができました。
(前川和子)



第2回男女共同参画in美唄大会を開催しました

昨年10月24日、美唄市婦人団体連絡協議会との共催により、男性も女性も身近な話題について共に学ぶことのできる講演会「第2回男女共同参画in美唄大会」を開催しました。



今回は「美唄市の医療拠点づくり」「訪問看護室の紹介」「転倒予防のための体と環境づくり」の3項目について講演を行い、参加された皆さんは、興味深く講師の話に耳を傾けていました。

講演後に設けられた質疑の時間には、新しい市立病院への要望や訪問介護の料金などについて、次々と質問が飛び出していました。

また、講演会場には男女共同参画コーナーを設け、男女共同参画に関するポスターやパンフレットなどを配置しました。

ヤキトリ男も応援！ 女性に対する暴力をなくす運動

毎年11月12日から25日までの2週間を「女性に対する暴力をなくす運動」として、女性の人権尊重のための啓発運動が全国各地で行われています。

美唄のマスコットキャラクターのヤキトリ男も、女性に対するあらゆる暴力をなくそうというメッセージが込められたパープルのリボンをつけて、この運動に参加しました。

リボンをつけたヤキトリ男の画像が内閣府の男女共同参画のホームページにも紹介されました。

<http://www.gender.go.jp/index.html>



「平成29年度北海道社会貢献賞」受賞 美唄市男女共同参画推進協議会 根賀 松子 会長



昨年、本会の根賀松子会長が北海道社会貢献賞（男女平等参画社会づくり功労者）を受賞されました。

12月12日に空知総合振興局において伝達式が行われ、佐々木振興局長より表彰状と記念品が手渡されました。

根賀会長は、昭和62年から16年間市議会議員として「美唄市女性の自立プラン」「美唄市男女共同参画計画」の策定に尽力されました。

議員退職後は平成15年5月から本会の会長として、男女共同参画に関する講演会の開催や会報紙の発行、市内の各種イベントでの啓発などに取り組まれています。

これらの長年にわたる男女共同参画社会推進への活動が認められ、今回の受賞となりました。

伝達式では佐々木振興局長から「生活者としての女性の視点を活かして、これからも頑張ってください」と激励の言葉が贈られました。

根賀会長は「この度の受賞は、関係団体や市民の皆さんのご協力とご支援のおかげと深く感謝しています。今後も地域貢献こそが自分の使命と自覚し、市民の皆さんと共に頑張っていきたいと思います」と話していました。



平成30年度「男女共同参画週間」キャッチフレーズ募集

内閣府男女共同参画局では「男女共同参画週間」のキャッチフレーズを募集しています。テーマは『スポーツに関わるあらゆる分野での女性の参画を推進し、様々なスポーツに男性も女性も親しみ、チャレンジし、活躍できるようになるためのキャッチフレーズ』です。

応募資格：どなたでも応募できます。なお、応募作品は未発表で自作のものに限ります。

応募期間：平成30年1月12日（金）～2月28日（水）まで

応募方法：男女共同参画局ホームページのキャッチフレーズ募集ページから、応募フォームに必要事項を入力して応募ください。

<http://www.gender.go.jp/public/week/week.html>

※お一人何作品でも応募可能ですが、応募1回につき1作品とさせていただきます。

平成29年度最優秀作品

「男で○（まる）、女で○（まる）、共同作業で◎（にじゅうまる）」

問合せ：内閣府男女共同参画局総務課「キャッチフレーズ募集係」 ☎03-5253-2111

Duoの会屋外活動

Duoの会の存在や活動内容を知っていただくため、8月の歌舞裸まつりと2月の雪んこまつりにおいて、来場者の方に会報配布などを行いPR活動をしています。

今後もより多くの方に「男女共同参画」について知っていただくために、さまざまな活動を行っていきますので、会報「Duo」をぜひご一読ください。



8月の歌舞裸まつりでの啓発活動風景

Duoの唄

このコーナーでは、男女共同参画に関するさまざまな思いを綴った唄を掲載しています。特に決まった形式ではなく、身近な生活の中で感じたことや疑問に思っていることなどを、川柳のような短い言葉で表現したものです。

会員以外の方からの唄も大歓迎ですので、自身で作った唄を会報に載せてみませんか？興味のある方はぜひ事務局まで。

また、掲載させていただいた方にはささやかですが景品を進呈いたします。

応募多数の場合は、作品を選定させていただきますので、あらかじめご了承ください。

手料理に掃除洗濯
独身の息子に持たせる
新三種の神器
ペンネーム てっちゃん

親の背を見て子は育つ
次代の男女共同参画社会も
家庭こそ大事
ペンネーム M・N

編集後記

平成30年から10年間の「美唄市男女共同参画計画（第3次）」策定のため、昨年7月から13人の委員による市民検討委員会が開催されました。

委員会の中で、貧困や障がい、家庭での男女共同参画の意識づけ、女性の活躍、少子化など様々な話題が出されました。また、最近では「男女」だけではなく「多様な性（LGBT）」という言葉もよく耳にします。幅広く対応が必要であり、様々な分野での協力体制が必要だと改めて感じました。（てっちゃん）

「美唄市男女共同参画推進協議会（通称Duoの会）」会員募集中！

新規会員を募集しています。男女共同参画社会づくりに向けて学習し、家庭や職場・地域で身近に取り組める実践を目的としています。興味のある方は、ぜひご連絡ください。

◆入会申込・問合せなど◆

事務局（美唄市役所秘書広報課広報情報係内）TEL 0126-63-0113へ